最近の主な寄贈資料の紹介

白亜紀マーストリヒチアン期前期のディプロモセラス

(アンモナイト)

パーツの位置関係
模式図
点線は欠損部

学名：*Diplomoceras* sp.

ディプロモセラス・種未定

産地：むかわ町穂別

時代：白亜紀マーストリヒチアン期前期

寄贈：大和治生氏

クリップ状の外形をしたディプロモセラスは、白亜紀末のカンパニアン期～マーストリヒチアン期（約8,300万年から6,600万年前）に生息していたアンモナイトです。しかし、日本のものについては、研究があまり進んでおらず、どの時代から産するのかといった点があまり分かっていません。ディプロモセラスは、穂別では最前期マーストリヒチアン期（約7,200万年）の地層から産することが知られています。この標本は、それよりも少し後の時代である前期マーストリヒチアン期（ゴードリセラス・イズミエンゼ帯、約7,000万年前）から産したもので、少なくともこの時代の穂別地域周辺および北海道から初めて産したものです。このアンモナイトの分布域や生息時代を理解するうえで重要な標本です。

白亜紀マーストリヒチアン期前期のパキディスカス

(アンモナイト)

学名：*Pachydiscus* sp.

パキディスカス・種未定

産地：平取町

時代：白亜紀マーストリヒチアン期前期

寄贈：松田敏昭氏

同じ時代の前期マーストリヒチアン期（ゴードリセラス・イズミエンゼ帯、約7,000万年前）から産する希少種のパキディスカス・コバヤシイ (*Pachydiscus kobayashii*) に似ている標本ですが、直径10cm以上のサイズになっても殻装飾の凹凸の肋（ろく）が消滅しないで発達している点が、これまでに穂別周辺から産しているものと異なっています。この標本はパキディスカス・コバヤシイの（未知の）種内変異、あるいは未記載種であると考えられます。

最近の主な寄贈資料の紹介

世界で最高の保存状態のダメシテス・アイヌアヌス

5 cm

学名：*Damesites ainuanus* (アンモナイト)

ダメシテス・アイヌアヌス

産地：三笠市

時代：白亜紀チューロニアン期後期

寄贈：伊豆倉正隆氏

希少種のダメシテス・アイヌアヌスの模式標本(種の記載に用いられたもの)と同じ地点・露頭(模式地)から産したものです。この露頭から産したほとんどの標本は殻が剥がれていますが、この標本では殻まで保存されています。加えて、この標本は、この種の最大級の標本です。北海道、サハリンとアフリカのアンゴラから産しているダメシテス・アイヌアヌスの中で、最高の保存状態の標本で、この種の形態的特徴を理解する上で極めて重要なものです。

これらの標本については、常設展示するほか、学術論文で図示する予定です。貴重な標本を寄贈していただいた方々に感謝します。学芸員 西村智弘

2013年の寄贈資料

(受入番号/受入資料/個数/寄贈者名〔敬称略〕)

2013-001 / アンモナイト *Pachydiscus* sp. / 1 / 松田敏昭 (札幌市)

2013-002 / ウミユリ (連結標本) / 1 / 小棚木幸子 (釧路市)

2013-013 / アンモナイト *Diplomoceras* sp. / 1 / 大和治生 (札幌市)

2013-014 / アンモナイト *Puzosia subcorbarica* / 1 / 堀田良幸 (むかわ町)

2013-015 / アンモナイト *Diplomoceras* sp. / 1 / 谷村拓海 (むかわ町・穂別小学校)

2013-016 / ウミガメ化石 / 1 / 西村智弘 (当館職員)

2013-021 / タガネ等(都田哲氏自作、1978年～1981年にかけてのホベツアラキリュウのクリーニング作業に使用したもの) / 23 / 都田憲 (安平町)

2013-022 / イノセラムス・アマクセンシス *Inoceramus amakusensis* / 1 / 吉村健 (東京都)・佐藤たまき (東京学芸大学)・当館職員

貴重な資料を寄贈していただき、ありがとうございました。

恐竜化石尾椎骨を常設展示に追加

発掘中のハドロサウルス科恐竜化石のうち、最初に発見された尾椎骨の部分を常設展示に加えました。

この標本の第二次発掘は2014年9月に予定されています。

[アクセス]

開館時間 9:30~17:00 (最終入館 16:30)

入館料 個人/小~高校生: 100円

大人 300円

団体/小~高校生: 50円

大人 200円

※団体は10人以上 ※小学生未満は無料

穂別市街のガソリンスタンドは夜間と日曜日は営業していませんのでご注意ください。

休館日

5月
7(水) 8(木) 9(金)
12(月) 19(月)
26(月)
6月
2(月) 9(月)
16(月) 23(月)
30(月)

町民無料観覧日(博物館)

5月18日(日)

(国際博物館の日)